

夏越の御案内

『大被』とは、半年毎に執り行われ、日常知らず知らずの内に犯している過ち・心身の罪穢を、「人形」に移し、被い清める日本古来よりの神事であります。

罪とは悪いことをした罪ではなく身体を包み隠してしまうことであり、穢とは汚いことではなく生命の気を枯らしてしまう事で、様々な病気や悩み、苦しみの原因とされます。

八幡神社におきましては、氏子崇敬者の皆様方に、御壮健にて心身共に清々しく明るい

毎日をお送り頂きたく、**六月二十九日(日)午後三時より「夏越の大被」**を執り行いま

すので、お誘い合わせ御参列下さいますようお願い申し上げます。

特に夏越の大被は、「水無月の夏越の被いする人は ちとせの命

のぶといふなり」と歌われ、故事にならって「茅の輪くぐり」を

行い、半年分の罪穢の一切を被い清めます。

尚、参列出来ない方でも、自宅において、**形代**(身代わり)被を

行うことが出来ますので、ぜひご家族皆様さんでお受け下さい。



茅の輪くぐりの様子

【お被い方法】

◆参列される際は、事前申し込み不要で、十五分前までお越し下さい。終了後は婦人部のご協力により直会があります。(未使用の形代はそのままご返納下さい。)

◆参列出来ない方が各自でお被いする方法は、一人一体の人形をとり、悪しきものを移すよう念を込め、頭から足まで全身をなでぬぐい(特に不調のところは、念入りに)、その後人形に三度息を吹き掛け、最後にお名前と年齢を記入し、袋に納めます。

車形も同じく車をさすり、車輛番号・運転者を記入し袋に入れます。

◆終わりましたら、申込書(袋)に住所・氏名とその下に家族の人数を記入し、当日時間までに神社にご持参頂く(社務所が不在の時は賽銭箱にお納め下さい)か、各地区総代までお届け下さい。郵送でもお受け致します。

◆形代が不足の際は神社に置いてありますので、ご自由にお持ち下さい。

◆初穂料はお心持ちで結構です。

◆お申込者には、大被修符と茅の輪御守、各自の大被身守を授与致します。

坪沼八幡神社

鎮座地 仙台市太白区坪沼字館前東六九
電話 〇二二―二八一―二五八九

